

フィルム選定のご注意

施工場所について

- ウィンコス ウインドーフィルムの被着体はガラスに限ります(1321P、SF-50 Pを除く)。
- ウィンコスには内貼り用(室内側に貼付)と外貼り用(屋外側に貼付)があり、内貼り用フィルムを外貼りすることはできません。
- 室内から施工できない場合や、ベランダの手すりガラスなど屋外環境にさらされる場合は、外貼り用フィルムをご使用ください。
- 浴室やプール、サウナなど高温、多湿環境下でのご使用はおやめください。高温多湿環境が想定される場合は、耐湿効果の高い特殊粘着剤を使用したタイプをご使用ください。
- MSVシリーズは、環境状況によっては寸法変化を起こす場合があります。

熱割れについて

窓ガラスにウインドーフィルムを貼ると、ガラスの温度が上昇し割れることがあります。熱割れが生じる条件は①ガラスの種類 ②ガラス窓の方位 ③影の形状 ④ガラス窓の近くにある反射物の影響(例えばカーテン・ブラインドなど) ⑤ガラスの大きさ・形状 ⑥ガラスの取り付け状況(パテなど)により決まります。熱割れが発生する可能性は、ホームページにて試算できますのでご利用ください。

<https://www.wincos-calculation.com/lintec/login.do>



*当計算はガラスメーカーが採用している熱割れ算出法と同様の
ものであり、あくまでも試算による可能性の有無であり、絶対的な
結果を保証するものではありません。参考としてご利用ください

熱割れ現象とは？

窓ガラスが太陽放射熱を受けた場合、ガラスの熱吸収により中央部が高温になります。一方、ガラス周辺部は、サッシ内に入っているため日も当たらず、また、サッシ、躯体への放熱もあり、低温のまま膨張しません。このため、周辺部は中央部の熱膨張を拘束することになり、引張応力が生じます。周辺の強度がこの引張応力に耐えられなくなると熱割れを起こすことになります。

干渉縞について

耐摩耗性ハードコート層が付与されたウインドーフィルムでは、室内蛍光灯や太陽の反射光によって干渉縞が見えることがあります。これは、ハードコートのような薄膜が塗布されているため、対応する波長の光が強め合うために起こる現象で、フィルム表面が(しゃぼん玉のように)虹色に見えることがありますので、あらかじめご了承ください。

*1501UHは干渉縞を低減したハードコートを採用しています

耐久性について

ウィンコスは有機材料によって構成されており、経年で劣化しますので、貼り替えが必要となります。施工実績や促進試験結果を基に、耐久年数を推測すると右記のようになります。

	内貼り用フィルムを 内貼りした場合	外貼り用フィルムを 外貼りした場合
透明ガラス(垂直面)	10～15年前後	5～7年前後
透明ガラス(垂直面以外)	5～7年前後	3～5年前後

*製品によって耐久性に差がありますので、右記の年数は目安とお考えください

*使用環境が過酷な場合には、耐久年数が短くなる場合があります。内貼り…熱や湿気がこもりやすい環境や結露が発生する場所など 外貼り…海に近い場所など

*日本ウインドーフィルム工業会が発行している「ガラス飛散防止フィルムの貼替えに関する指針」では、内貼り用フィルムを内貼りし、10年以上経過したのものについては、貼り替えをお薦めしています。なお、10年という一定年限は、保証値ではなくあくまで判断基準です

施工された方位などの環境条件によって劣化の程度が異なりますので、施工後10年未満のフィルムについても、外観、ガラスに対するフィルムの粘着力、フィルムの引張強さおよび伸びなどを確認し、貼り替えの必要性を判断してください。現在、ご使用中のフィルムの貼り替え診断につきましては、当社または当社特約販売施工店へご相談ください

ご使用者はフィルムの採用に際し、フィルムがご要望の用途、効果などに適合しているか、事前にテスト施工などでご確認ください。

デコラティブフィルムのジョイントについて

- 一部製品は印刷品のためジョイント施工の際、ピッチがずれる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

組み合わせ使用について

ガラスのサイズが大きく、異なる品番のものを組み合わせる場合、下記以外の組み合わせは推奨いたしません。グラデーションの濃度100%とクラスターは同色ですが、製品ロットにより色調等の外観に差が出る場合がありますので、あらかじめご了承ください。

- MST-5131 ホワイトドットグラデーション と MST-5134 クラスターホワイト
- MST-5141 ブラックドットグラデーション と MST-5144 クラスターブラック



リンテック株式会社 *Linking your dreams*

お問い合わせは、建築工材営業部 〒112-0002 東京都文京区小石川1-1-1 文京ガーデン ゲートタワー8F
TEL. (03)3868-7733 FAX. (03)3868-7755
E-mail:wf@post.lintec.co.jp

- 本社 〒173-0001 東京都板橋区本町23-23
- 支店 札幌・仙台・北陸・静岡・名古屋・大阪・広島・四国・福岡
- 工場 吾妻・熊谷・千葉・龍野・新宮・小松島・三島
- テクノロジーセンター 伊奈 ●研究所 蕨

www.wincos-film.com

| 施工時のご注意

施工の際は、当社「ウインコス施工マニュアル」に従って適正に施工してください。

また、施工道具、施工液についても当社推奨品をご利用ください。

- MST-5051、5052、5054は印刷品のため表面に傷をつけないよう取り扱いには十分ご注意ください。

*推奨施工液：当社「リアルパーフェクト」を濃度約0.5%とした水溶液もしくは界面活性剤27%の家庭用中性洗剤を濃度0.1~0.2%とした水溶液。詳しくはお問い合わせください



ウインコス施工マニュアルのダウンロードはこちらから。

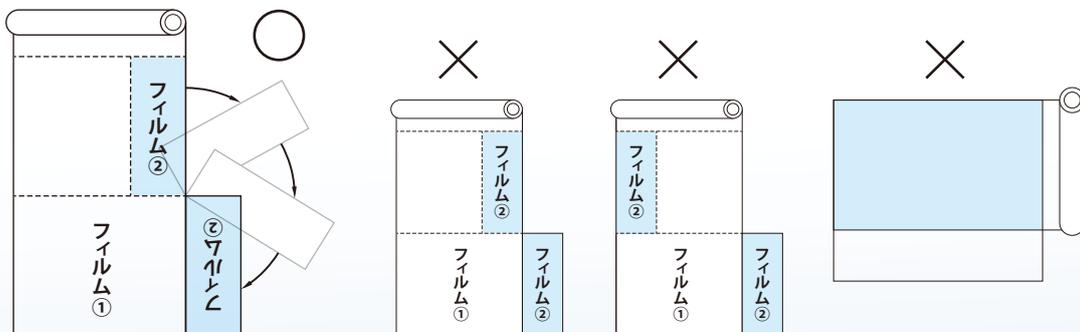
フィルムのジョイント施工について

ガラスがフィルム幅よりも大きいサイズの場合、ジョイント施工が必要です。

*ジョイント施工は、事前にお客様とジョイントの位置、隙間などの承認を得て行ってください

- 色調など外観が異なる場合があります。隣接して使用する場合は、原則同一ロール品をご使用ください。
- ジョイントするフィルムは、下記の図を参考に、同一エッジを合わせてください。
- 結露やほこりの影響があるので、原則としては横ジョイントは行わないでください。

*採光フィルムをジョイント施工する場合は横ジョイントとなります



熱線反射ガラスやコーティングのあるガラスへの施工について

- 熱線反射ガラスの反射面へのフィルム施工は、フィルム施工時にカッターで傷をつけたり、フィルムを剥離した際に反射膜が剥がれるおそれがあります。
- ガラスにコーティング処理が施されている場合、コーティングされた面への施工は、フィルムの粘着力が発揮できなかったり、フィルムを剥離する際にコーティングが剥がれるおそれがあります。

施工後の水残りについて

施工完了後、ガラスとフィルムの間になぜかに残った施工液が水泡として現れたり、フィルム面が一時白濁することがあります。この現象は、水分が水蒸気化して徐々に抜けてきれいになりますが、日当たりの悪い場所、気温の低い場合、多湿の場合などにはある程度の日数が掛かることがあります。1561UH-Fなどの厚いフィルムやWH03などの金属層があるタイプは、ほかのウィンドーフィルムよりも多くの日数を必要としますので、養生期間を長くするなど余裕のある施工をお願いします。

施工に際して、施工・販売店は各製品の特徴を把握し、お客様と打ち合わせを行ってください。ご不明な点がございましたら、当社までお問い合わせください。

